

第3学年 社会科学学習指導案

1 単元名 「第3章 現代の民主政治と社会 第1節 現代の民主政治」

2 指導の立場

(1) 単元・題材について

本単元では、民主主義の意義について取り扱う。学習指導要領「公民的分野(3) 私たちと政治」の「内容イ」には、「国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深めさせる。」とあり、この内容を本単元の重点として学習を展開する。

2015年に選挙年齢が18歳に引き下げられ、2016年6月に行われた参議院選挙で初の実施となった。岐阜県内の投票率が57.74%であったのに対し、10代の投票率は50.39%と下回る結果が出ている。また、18歳から19歳にかけて投票率が低下する傾向があると岐阜大学の追跡調査で分かった。今回の結果から、「主体的に学び続ける主権者教育」という課題が見えてきた。本単元の学習では、民主政治の仕組みを理解することで、主体的に政治に関わることの大切さに気づき、15歳からできることを考えるように仕組む。

(2) 生徒の実態について

(3) 指導にあたって

本時は、選挙権を18歳に引き下げた政府の意図を追究する活動を通して、主体的に政治参加することが自分達の生きる社会をよりよいものにすると気づき、選挙に参加する意義を理解する、思考・判断・表現力の授業である。さらに、政治参加は選挙権を持たない15歳の中学生でもできることに気付くことで、「主体的に学び続ける主権者」という認識を育てたい。

そこで、前述の生徒の実態から以下2点を本時で行う。

本時の個人追究では、資料から自分の考えを持つことが苦手な生徒を中心に、政党と国民の選挙の仕組みについて机間指導を行う。

展開後段で、政治参加が選挙に行くことだけではないことを確認し、15歳の中学生でもできることは何か考える時間をつくる。

の指導によって、選挙権を18歳に引き下げ、投票率を上げるということが、より多くの国民の意見を反映させることにつながり、自分達の人権を守ることにもなるという選挙に参加する意義に結びつける。また、の時間を設けることによって、18歳まで選挙権がないからできることが無いと判断するのではなく、今できることは何か常に考え続ける「主体的に学び続ける主権者」としての中学生を育てる。

3 研究主題「できる・分かる喜びを自信に変えて学び続ける生徒の育成」とのかかわり

【研究内容1】 教科間での共通事項・終末の10分の持ち方を工夫する

これまで、評価の観点に合わせて「できる・分かる喜び」を実感しやすいよう、終末の10分の持ち方を変えてきた。

知識・理解の授業の終末10分では、練習問題に取り組む時間を設けている。授業の中で一度書いただけでは定着しにくい知識も、繰り返し問題を解くことで「できる・分かる喜び」に繋がるよう工夫した。また、学習内容に応じて新出の語句だけでなく、本時に関連する1・2年生で学習した内容も練習問題に取り入れている。

技能の授業では、本時で取り扱ったものと類似した事例や資料を出題し、習得した技能を確かめる時間を設け、学習が定着したことを自信に持てるようにしている。

思考・判断・表現力の授業では、自分の意見を書きまとめ、仲間と交流する時間を設けている。まとめを書く時間は知識・理解や技能の授業でも設けているが、思考・判断・表現力の授業では書きまとめた意見を仲間と交流し認め合う時間を設けることで、「できる・分かる喜び」を感じられるように工夫している。仲間と交流した際に、「なるほど。」という言葉が返ってくることや、仲間のまとめに

「○○さんは～のように考えていて...。」と書かれることが学びの自信に繋がっている。

終末の10分がパターン化されることにより、生徒が本時の出口を意識して学習に臨めるようになった。本単元の学習でも、これまでの実践を継続して行う。

【研究内容2】 できた・分かったと生徒が実感できる教師の働きかけを工夫する

研究内容1の終末の10分を意欲的に迎え、「できる・分かる喜びを自信に変えて学び続ける」ことができるよう、3つの働きかけを実践してきた。

課題化で終末の見通しを持たせる働きかけ

評価の観点に合わせて課題の文言を変え、本時がどの観点に当てはまる授業かを生徒が意識できるようにしている。また、課題化の段階でどのような出口になりそうか生徒に投げかけ、個人追究ではっきりとさせなければならない内容を共通理解できるようにしている。このことによってより意欲的に終末を迎えることができる。

生徒の自主性を尊重した全体交流の持ち方の工夫

生徒が主体的に授業を展開することで、「できる・分かる喜び」を実感できるよう、ハンドサインを活用し生徒同士の意見交流を行ってきた。その間、教師は生徒の発言内容を整理し、板書に構造的に位置付けることで理解の支援を行っている。

個に応じた個人追究での支援の工夫

どの生徒も終末で「できる・分かる喜び」を実感するためには、特に個人追究の場において個に応じた支援が必要である。毎時の板書は生徒に向かって左側の視点を読み取りの難易度が低いものにし、の課題の文言と照らし合わせてどの視点で何を見るとよいのか机間指導で支援を行っている。

上記3つの働きかけを教師が継続的に実践することによりパターン化され、研究内容1と同様に生徒が本時の出口を意識して学習に臨めるようになった。本単元の学習でも、これまでの実践を継続して行う。

4 単元指導計画 ～単位時間のねらいと評価，終末の 10 分一覧表～

< 単元のねらい >

日本の議会制民主主義の意義について考えることを通して，国民の主体的な政治参加が我が国を支えていることに気付き，政治に関心をもって生活することが大切であると理解することができる。

時	ねらい	学習課題	終末の 10 分	評価規準
1	X 市（架空）の市長選を通して，選挙には市民の声が反映されていることに気付き，選挙を含む政治について感心をもつことができる。	だれを市長に選び，どんな X 市にしたいか考えよう。 私たちの願いを実現し，政治を通してよりよい社会を築くためにはどうしたらよいのだろう。	・ まとめの他，単元の課題を共通理解することで学習に見通しをもつ。	（関心・意欲・態度） ・ 政治に関心をもち，学習活動に意欲的に取り組んでいる。 ・ 単元の学習への見通しと関心をもっている。
2	独裁政治や専制政治と民主政治の比較を通して，民主主義の重要性に気付き，日本で議会制民主主義が採用されている理由について理解することができる。	日本で採用されている議会制民主主義とはどのような制度だろう。	・ 議会制民主主義のよさについてまとめ，練習問題を解く。	（知識・理解） ・ 民主主義へ移り変わった歴史の変化を理解している。 ・ 議会制民主主義のよさを理解している。
3	小選挙区制・比例代表制の仕組みを比較する活動を通して，日本の衆議院選挙で小選挙区比例代表並立制が採用されている理由を理解し，選挙シミュレーションを正しく行うことができる。	日本の選挙制度について調べ，選挙シミュレーションを行おう。	・ 小選挙区制，比例代表制，小選挙区比例代表並立制について特徴をまとめ，選挙シミュレーションを正しく行うことができる。	（技能） ・ 得票数や死票について計算し，正しく表を完成させる。 ・ 表からそれぞれの選挙方法の長所と短所を読み取っている。
4	日本の投票率の低下と一票の格差の学習を通して，日本の選挙制度に課題があることに気付き，国が行った政策の意図を理解することができる。また，政治参加の方法について具体的なイメージをもつことができる。	日本の選挙の課題と政治参加の方法について知ろう。	・ 投票率の低下と一票の格差についてまとめを書き，練習問題を解く。	（知識・理解） ・ 期日前投票が行われたり，海外からの投票が可能になったりしたことは，投票率を上げ国民の意見を取り入れようとしていることを読み取っている。 ・ 一票の格差に対する対応を読み取っている。
5	さまざまな政党の政策を調べることを通して，政党政治には国民の意見が反映させていることに気付き，国民の政治参加が民主政治において重要であると理解することができる。	政党はどのような役割を果たしているのだろう。	・ イギリスの政党の役割について，資料から読み取る。	（技能） ・ 政党と国民の関係を正しく図説し読み取ることができる。 ・ 政権公約の内容を読み取っている。
6	新聞記事の比較を通して，新聞社によって同じ事実でも表現方法が大きく異なる事に気付き，メディアリテラシーの重要性について理解することができる。	同日・同ニュースを各新聞社はどのように報道しているのだろう。	・ 今週の新聞記事を 2 誌読み比べる。	（技能） ・ 新聞記事から，ニュースの取り扱いの違いについて語句や使用している写真から読み取っている。
7 本時	政府による選挙年齢引き下げの意図を追究する活動を通して，一人一人の選択が未来に影響を及ぼしていることを理解し，さらにニュースに興味を持つなどよりよい社会について考え続けることの大切さに気付く。	選挙権を 18 歳に引き下げたのはなぜだろう。	・ 本時のまとめを書いた後，仲間と交流する時間を持つことでお互いの意見を認め合い，「できる・分かる喜び」を実感できるようにする。	（思考・判断・表現力） ・ 選挙に参加する意義について，自分の考えを持っている。 ・ 今できる政治参加について考えることができている。

5 本時のねらい

政府による選挙年齢引き下げの意図を追究する活動を通して、一人一人の選択が未来に影響を及ぼしていることを理解し、さらにニュースに興味を持つなどよりよい社会について考え続けることの大切さに気付く。

6 本時の展開（本時の位置 7 / 7）

過程	学 習 活 動	【研究2】教師の働きかけ
導入 10分	<課題の確認> - 選挙権が18歳際に引き下げられたことを知っていましたか。 - 知っている。投票率を上げるために18歳に引き下げているのだろう。	『年表：選挙権の変化』
展開 30分	選挙権を18歳に引き下げたのはなぜだろう。 <予想と追究の視点の確認> - これまでの学習を参考にして、予想を立ててみましょう。 - 投票率が下がっているという勉強をしてきた。投票率を上げるためにこのような政策を行っているのではないか。 - 若者の意見をより政治に反映させようと考えているのではないか。 <個人追究> 1つの視点で追究が終わったら、別の視点から追究をしてみましょう。歴史の学習や憲法の学習もつなげることができそうですか。 <全体交流> - 追究の立場と根拠をはっきりさせて、自分の考えを話しましょう。 <投票率を上げるため> 『国政選挙の投票率』の資料を見ると、徐々に投票率が低下していることが分かる。18歳・19歳も選挙権を与えられたことで、有権者が増え投票率の回復が期待できると考えられる。 10代の投票率は平均値には届いていないが、20代の投票率より上回っている。まだ1回しか実施されていないので、分からないことも多いが、このまま投票率が上がるとよいと思う。 - 投票率が上がるということは、国民の意見を取り入れることから、<若者の意見を取り入れる>ということにもつながる。 <若者の意見を取り入れるため> 『人口にしめる高齢者の割合の推移と将来推計』を見ると、少子高齢化が急速に進んでいることが分かる。また、『年齢別有権者の割合の変化』を見ると、高齢者の割合がとて高いので、多数決の原理に従うと若者の意見が反映されにくい状況にあると思う。18歳に引き下げたのは、若者の意見を取り入れたかったからだと思う。 - 少子高齢化の学習や、過疎化の学習の中で、私たち若者が地域に参加することがとても大切だと学習してきた。未来をになう上で、できることを考えたい。	<C→Bの生徒に対する働きかけ> - 予想を全体で交流し、個人追究の見通しを持てるようにし、主体的に追究が行えるよう支援を行う。 『国政選挙の投票率』 『新たな有権者の数』 『6月の参議院選挙における年代別投票率』 『年齢別投票率』 『年齢別有権者の割合の変化』 『人口にしめる高齢者の割合の推移と将来推計』 『政党と国民の関係』 <C→B> - 板書の左側に位置付ける<投票率を上げるため>という視点から調べるとよいことを促す。 <B→A> 2つの視点を比べ、最も大切なことは何か考えるよう促す。 <A> - これまでに学習した公民の内容や歴史の内容から、予想を裏付ける事実が無いか考えるよう促す。
	↓ <よりよい社会を自分達の手でつくるために> - 選挙権が18歳に引き下げられ、自分達の意見を伝えることができるチャンスがあるのだから、積極的に参加することで自分の考えをきちんと伝えていきたい。 - 政治に参加することは、選挙に行くことだと考えていたけれど、その他にもボランティアに参加することで地域のあり方に関わることができる。中学生でもできることはあるはずだ。 - これまでの学習で、請願権の勉強をした。教科書に載っていた例では、中学生が条例をつくっていた。私たちにもできることがあるはずだから、身近な課題に目を向け今できることを考えていきたい。	<学びを実生活と繋げる発問> 「政治参加の方法は、選挙しかないのだろうか。18歳となるまでにあと3年あるが、その間にできることはどんなことでしょうか。」
	<見方・考え方を再構築し、自分の考えを論述する> キーワードを使ってまとめを書きましょう。 選挙権を18歳に引き下げた理由には、投票率を上げ若者の意見を大切にしたいという政府の意図があると思う。選挙に参加することで、私たちは自分の価値観にあった未来を選ぶことができる。 また、選挙権がなくても政治に参加することができる。ボランティアとして地域に関わることができるし、請願権を使って揖斐川町に自分達の思いを伝えることもできる。選挙権を得る18歳までにできることがたくさんあるから、小さくてもそうした行動を起こしていきたい。	【研究1】終末の10分 - 本時のまとめを書いた後、仲間と交流する時間を持つことでお互いの意見を認め合い、「できる・分かる喜び」を実感できるようにする。 <評価規準>（思考・判断・表現力） - 選挙に参加する意義について、自分の考えを持っている。 - 今できる政治参加について考えることができている。 <評価場面> - 挙手、発言 - ノート
終末 10分		